

グループ毎の PCI 時における合併症の対策についての検討会。当グループでは LAD にステントを 2 個留置後に同部位に対して IVUS を施行したが、IVUS 施行後に IVUS カテーテル抜去困難となった症例についての検討となった。その時の解決策として、ステントのオーバーラップ部でスタックしている可能性が高い事より、異なる穿刺部よりアプローチし、バルーン使用にてステント間のオーバーラップ部を再拡張後に IVUS を抜去することができた。ワイヤーをもう一本使用し引っ掛ける、スネアを使う、吸引カテーテルを使う等その他の可能性のある対処方法を検討した。その合併症を予防する方法として、オーバーラップ部は再拡張し拡張不十分を改善する、IVUS 抜去時には IVUS を回転させておく等の対策を検討した。なかなか学べない事象であるが非常に重要で実践的でありためになった。